

1990年(平成2年)5月8日 火曜日

国境超え釜関広域経済圏を

韓国大統領訪日を契機に提起

海底トンネルや海上都市

韓国紙報道

【ソウル七日上別府特派員】日から予定されている盧泰愚韓国政府が、韓国南部地域と大統領の訪日を契機に、日本の九州・山口地域を結び、側に打診する考えであること、大経済圏を構想中で、二十四を、朝鮮日報が八日付朝刊早

版で報じた。韓国商工省の情報として同紙が伝えたところによると、この構想は「釜関広域経済圏

共同開発計画」と呼ばれ、日本の側は九州・山口全域、韓国側は釜山市、大邱市、慶尚南・北間に海底トンネルを建設して経済交流を活性化するという長崎道、全羅南・北道、済州島まで

―済州島―沖縄を結ぶ海上観光都市建設の済州島に東京金融市場を補完する国際的な域外金融市場(オフショア市場)建設―などを構想している。また、石油化学や鉄鋼セメント、カラーテレビなどの水平分業を進める計画だ。商工省は構想の狙いを、日韓間での人と技術の交流を活性化し共同繁栄を図ることに、日韓両国とともに情報や技術、資本などの首都圏集中が激しい状況で、地域経済を活性化して国土の均衡ある発展に寄与することだ、としている。